

白川グラウンド使い初め

天理大ラグビー部

関西大学ラグビーAリーグが10月5日開幕する。リーグ開幕まで残り1カ月、チーム力の底上げを目指す天理

大は7日、筑波大学との定期戦に臨んだ(写真)。

今年の定期戦は、この

ほど完成した白川グラウ

ンドで行われるなど、

天理高校と京都成章高校

の対戦が行われるなど、

と筑波大によるOB戦、

天理高校と京都成章高校

の対戦が行われるなど、

天理大ラグビー場

の使い初めとなっ

た。

天理ラグビークラブ

(TRC) の協力による

記念の一戦には、同クラ

ブ会長である前真柱様が

臨席されたほか、試合の

前後に少年ラグビースク

ールの交流会や、天理大

花を添えた。

天理大は、4月から7

月初めにかけての春季オ

ープン戦で、同じAリーグに所属する大学や社会

人チームに勝つなど順調

な仕上がりを見せた。

ところが夏に入つて、

レギュラー選手が次々と

けがで脱落。この定期戦

で、ようやくベストメン

バーがそろった。

関東の強豪校・筑波大

との定期戦は、昭和39年

から続く伝統の一戦。例

年、シーズン前のこの時

期に行われており、その

年のチームの実力を試す

絶好の機会となつてい

る。

試合序盤は一進一退の

攻防が繰り広げられた

が、筑波大の素早いボ

ー

ル回しに押され、前半22分と31分にトライを奪われた。

黒のジャージーの天理

大は前半終了間際、フオ

ワード陣がモールで押し

ヨンキックも決めて、7

・12と巻き返しを図

た。

しかし、後半は自陣で

のミスが相次ぎ、立て続

けにトライを追加される

苦しい展開。天理大も再

び三、相手陣へ攻め込む

のの、トライまで一步及

ばず、7・41で敗れた。

小松節夫監督(45歳)

は「関東の強豪校に力負

けしたことで、選手も危

機感を持ってくれたと思

う。あと1カ月、この敗

戦を糧に修正すれば、ま

だまだ強くなれる。新し

いグラウンドの完成に力

を尽くしてしてくださつ

た多くの方々のご期待に

応えられるよう、大学選

手権出場を目指して頑張

りたい」と話した。

